

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	花と緑の商品知識		履修区分	必修	選択
受講対象	花き生産コース・グリーンコーディネーターコース フラワーコーディネーターコース・造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	花木、洋ラン、観葉植物等の栽培管理や販売に関する知識の学習。	到達目標	小売りの現場で求められる、お客様からの基礎的な質問等に答えられる知識の習得。		
担当教員	大久保 茂徳				
実務経験と授業との関わり	園芸会社での勤務経験、大型ガーデンセンターでの講習会講師の経験があり、植物に関する商品知識が豊富である。よって、小売りの現場で顧客へ説明することを想定し、実践的に指導することができる。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編 (NHK出版)、鉢花ハンディ事典 秋～早春編 (NHK出版)				
成績評価方法	毎回の授業で扱う植物それぞれについて、フォーマットにまとめたものによって評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	花木類	春の花木	
2	花木類	春の花木	
3	花木類	初夏の花木	
4	花木類	家庭果樹	
5	温室植物	洋ラン類	
6	温室植物	洋ラン類	
7	温室植物	観葉植物	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 園芸実習	欠席者に対するペナルティ 欠席時のフォーマットが未提出の場合には減点となる。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	園芸実習		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30		単位数 1
授業概要	植物栽培についての興味と関心を高めるとともに、適切な管理方法を学習する。	到達目標	圃場での時期に応じた管理方法を習得する。		
担当教員	萩原 文雄				
実務経験と授業との関わり	鉢花、花壇苗、洋ラン、切り花などの花き生産に20年以上従事し、幅広い植物の生産知識を持つ。よってコース問わず最低限知っておくべき基本的な栽培知識、技術を指導することができる。				
テキスト・教材					
成績評価方法	出席状況、授業態度を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	圃場管理	各コースでの植物管理作業	
2	圃場管理	圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等）	
3	圃場管理	各コースごとでの植物管理作業	
4	圃場管理	圃場での管理作業（除草、花がら摘みや追肥等）	
5	圃場管理	圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等）	
6	圃場管理	圃場での管理作業（除草等）	
7	圃場管理	圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等）	
8	まとめ	花壇メンテナンス、圃場管理作業	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	造園施工（前期）		履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	60	単位数	2
授業概要	造園施工を行う上で知っておくべき基本知識・技術を講義および実習を通じて学ぶ。	到達目標	造園施工をする上で知っておくべき基本（木工・コンクリート工等）知識・技術を講義および実習を通じて習得する。		
担当教員	鈴木 常美、細井 薫、阿部 亜沙美				
実務経験と授業との関わり	（鈴木）長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るいため、実践的な内容を指導することができる。（細井）20年以上花壇植栽・管理経験あり。（阿部）フラワーパークでの植栽・管理経験あり。				
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等				
成績評価方法	普段の授業の実習状況や各種課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	芝工	芝工	
2	花壇植栽	花の植栽	
3	花壇植栽	花の植栽	
4	木工	木材加工	
5	木工	ウッドフェンス	
6	コンクリート工	型枠	
7	コンクリート工	モルタル打ち込み	
8	樹木移植工・管理	掘り取り、根巻き、植え付け、管理	
9	樹木移植工・管理	掘り取り、根巻き、植え付け、管理	
10	樹木移植工・管理	掘り取り、根巻き、植え付け、管理	
11	支柱工	八掛け支柱	
12	支柱工	鳥居支柱	
13	石組	石組の基本	
14	石組	石組の基本	
15			
他教科との関連 造園設計、造園管理、課題学習		欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	造園施工（後期）		履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次後期	時間数	120	単位数	4
授業概要	造園施工を行う上で知っておくべき基本知識・技術を講義および実習を通じて学ぶ。	到達目標	造園施工をする上で知っておくべき基本（木工・コンクリート工等）知識・技術を講義および実習を通じて習得する。		
担当教員	鈴木 常美、細井 薫、阿部 亜沙美				
実務経験と授業との関わり	（鈴木）長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るいため、実践的な内容を指導することができる。（細井）20年以上花壇植栽・管理経験あり。（阿部）フラワーパークでの植栽・管理経験あり。				
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等				
成績評価方法	普通の授業の実習状況や各種課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	花壇植栽	秋・冬花壇植栽準備	
2	花壇植栽 作庭	秋花壇植栽 文花祭作品準備・施工	
3	作庭	文花祭作品準備・施工	
4	花壇植栽 作庭準備	冬花壇植栽 樹木・芝生管理	
5	作庭準備	樹木・芝生管理	
6	作庭	卒業制作作品準備・施工	
7	作庭	卒業制作作品準備・施工	
8	作庭	卒業制作作品準備・施工	
9	作庭	卒業制作作品準備・施工	
10	作庭	卒業制作作品準備・施工	
11	作庭	卒業制作作品準備・施工	
12	作庭	卒業制作作品準備・施工	
13	作庭	卒業制作作品準備・施工	
14	作庭	卒業制作作品準備・施工	
15			
他教科との関連 造園設計、造園管理、樹木学、造園材料、環境緑化、課題学習		欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	造園管理（前期）		履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	90	単位数	3
授業概要	造園管理を行う上で知っておくべき基本知識・技術を講義および実習を通じて学ぶ。	到達目標	造園管理をする上で知っておくべき基本（樹木剪定、植栽・芝管理等）知識・技術を講義および実習を通じて習得する。		
担当教員	鈴木 常美、細井 薫、阿部 亜沙美				
実務経験と授業との関わり	（鈴木）長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るいため、実践的な内容を指導することができる。（細井）20年以上花壇植栽・管理経験あり。（阿部）フラワーパークでの植栽・管理経験あり。				
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等				
成績評価方法	普段の授業の実習状況や各種課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
2	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
3	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
4	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
5	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
6	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
7	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
8	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
9	管理の知識	造園管理に関わる知識（造園技能士学科対策）	
10	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
11	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
12	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
13	管理の知識	造園管理に関わる知識（造園技能士学科対策）	
14	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
15	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
16	管理の知識	造園管理に関わる知識（造園技能士学科対策）	
17	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
18	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
19	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
20	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
21	植栽管理	樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
他教科との関連	造園設計、造園施工、課題学習	欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	造園管理（後期）		履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次後期	時間数	90	単位数	3
授業概要	造園管理を行う上で知っておくべき季節の様々な植物・庭の管理について知識・技術を学ぶ。	到達目標	造園管理をする上で知っておくべき基本（樹木剪定、植栽・芝管理等）の知識・技術を習得する。		
担当教員	鈴木 常美、由比 誠一郎、中山 秀一、細井 薫、阿部 亜沙美				
実務経験と授業との関わり	（鈴木）個人庭および公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るく、実践的な内容を指導。（由比）本校卒業後、造園会社で修業、家業の造園会社を継ぎ、20年以上雑木・自然風の庭の計画・施工・管理に携わる。（中山）造園会社で20年ほど公共緑地の計画・施工・管理に携わる。樹木医でもあり、本校造園コースの卒業生でもあるため、学生の気持ちを理解しながら、実務をわかりやすく指導できる。				
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等				
成績評価方法	普通の授業の実習状況や各種課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	樹木・花壇・芝管理	剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	鈴木・細井・阿部
2	樹木・花壇・芝管理	剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	鈴木・細井・阿部
3	樹木・花壇・芝管理	剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等	鈴木・細井・阿部
4	雑木管理	雑木の剪定	由比・阿部
5	雑木管理	雑木の剪定	由比・阿部
6	雑木管理	雑木の剪定	由比・阿部
7	樹木医概論	資格取得と樹木医の仕事／病害虫と農薬	中山
8	樹木医概論	樹木診断とカルテ	中山
9	樹木医概論	土壌診断	中山
10	樹木医概論	土壌改良	中山
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 造園設計、造園施工、環境緑化、樹木学、課題学習		欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	樹木学		履修区分	必修	選択	
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期	時間数	30		単位数	1
授業概要	造園業に携わる上で必要と思われる主要樹木について、講義および実習農場および公園での観察を通じて学ぶ。国家検定造園技能士（2級）の樹木判断等試験対策も兼ねる。	到達目標	樹木の分類と特徴の理解。 造園技能士（2級）の対策。 基本知識・技術を講義および実習を通じて習得する。			
担当教員	福島 公男、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり	（福島）造園会社での勤務経験があり、国営公園等の計画・管理に携わる。樹木医でもあり、樹木に関する知識や管理経験が豊富なことから、経験に基づき実質的な樹木解説が可能である。（阿部）フラワーパークでの植栽・管理経験あり。					
テキスト・教材	フィールドガイド23 葉で見分ける樹木（小学館）、造園施工必携・造園実技作業の手引き（1,2級）・造園技能検定学科試験問題集（3冊いずれも（一社）日本造園組合連合会）					
成績評価方法	普通の授業の実習状況や模擬試験で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	造園・樹木概論	造園および樹木の全体解説	
2	針葉樹詳論	針葉樹の詳細論	葉を主体
3	常緑高木詳論	常緑広葉樹（高木）の詳細論	葉を主体
4	常緑低木詳論	常緑広葉樹（低木）の詳細論	葉を主体
5	落葉高木詳論	落葉広葉樹（高木）の詳細論	葉を主体
6	落葉低木詳論	落葉広葉樹（低木）の詳細論	葉を主体
7	屋外実習	実地研修による知識の応用	
8	模擬テスト	試験対策と理解度の確認	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 造園管理、課題学習、フィールドワーク、（資格取得）造園		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	造園設計		履修区分	必修	選択	
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期		時間数	60	単位数	2
授業概要	ショウガーデンや公共緑化空間（公園等）の考え方の基本を学び、実際のガーデンショウや公園見学をした上で、イベントガーデン（文花祭・卒業制作）および公園設計を体験する。さらに住宅庭園図面をもとに積算の基本を学ぶ。	到達目標	1年次の設計の基本をふまえた、より現実的で魅せる計画力の習得。また様々な計画・設計（見積含む）を経験する。さらに関連する各種緑化イベント・施設の見学を通じ、設計の参考とする。			
担当教員	鈴木 常美、高橋 康夫、山下 利隆、細井 薫、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり	（鈴木）長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に長けている。（高橋）元東京都勤務で都立公園などの設計・監督・管理を通じて都立文化財庭園の保存管理計画に携わる。都退職後、神代植物公園で園長や日比谷公園緑と水の市民カレッジの事務局長を務める。2019年現在（一社）日本庭園協会の会長も務める。（山下）造園会社で常務取締役を務め、1級施工管理技士である。長年計画・施工・管理に携わる。よって様々なスタイルの造園設計を指導することができる。					
テキスト・教材	造園施工必携（一社）日本造園組合連合会）、造園図面の表現と描法Ⅰ（誠文堂新光社）、建設物価（一財）建設物価調査会）、造園修景積算マニュアル、プリント、製図道具一式、計算機 等					
成績評価方法	普段の授業の実習状況や見学レポート・見積・設計等課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガイダンス、実力テスト、個人面談	授業の進め方、実力確認	鈴木・細井・阿部
2	イベント・ショウガーデン①	イベント・ショウガーデンの基本的な考え方、計画（文花祭・卒業制作等計画）	細井・阿部
3	公園概論	公共緑化空間の考え方	細井・阿部
4	公園・庭園見学（終日）	実地見学（日比谷公園等）	高橋・阿部
5	イベント・ショウガーデン②	魅せる庭の考え方、イベント・ショウガーデン計画・準備（文花祭計画）	鈴木・細井・阿部
6	イベント・ショウガーデン③	イベント・ショウガーデンの計画・準備 文花祭プレゼン資料作成（平面図・透視図・工程表・積算）	鈴木・細井・阿部
7	積算①	積算の基本、関連資料の見方・使い方説明 住宅庭園積算演習①	山下・細井
8	公園設計①	街区公園設計演習①	山下・細井
9	イベント・ショウガーデン④	イベント・ショウガーデンの計画・準備 文花祭プレゼン資料作成（平面図・透視図・工程表・積算）	鈴木・細井・阿部
10	積算②	住宅庭園積算演習②	山下・細井
11	公園設計②	街区公園設計演習②	山下・細井
12	イベント・ショウガーデン⑤	イベント・ショウガーデンの計画・準備 文花祭プレゼン資料作成（平面図・透視図・工程表・積算）	鈴木・細井・阿部
13	積算③	住宅庭園積算演習②	山下・細井
14	公園設計③	街区公園設計演習③	山下・細井
15			
他教科との関連 コース別授業（課題学習）、造園施工、環境緑化		欠席者に対するペナルティ 見学については代替見学およびレポート、演習においては各種課題の作成・提出。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考



2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	造園材料		履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次後期	時間数	60		単位数 2
授業概要	造園設計・施工・管理を行う上で知っておくべき造園材料の基本知識や取扱いについての技術を学ぶ。	到達目標	造園設計・施工・管理をする上で知っておくべき基本知識や取扱い技術を習得する。		
担当教員	鈴木 常美、細井 薫、阿部 亜沙美				
実務経験と授業との関わり	（鈴木）長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に長けている。 （細井）10年以上国内外のショウガーデンへの出展および出展指導・受賞経験と20年以上の花壇植栽・管理経験がある。（阿部）フラワーパークでの植栽・管理経験がある。よって実際に即した様々な場面においての造園材料の知識、扱い方を指導することができる。				
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等				
成績評価方法	普通の授業の実習状況や各種課題で評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	植物材料取扱い	文花祭（施工・販売植物）仕入れ・植栽・管理	
2	植物材料取扱い	文花祭（施工・販売植物）仕入れ・植栽・管理	
3	植物材料取扱い	文花祭（施工・販売植物）仕入れ・植栽・管理	
4	植物材料取扱い	文花祭（施工・販売植物）仕入れ・植栽・管理	
5	植物材料取扱い	文花祭（施工・販売植物）片付け・在庫管理	
6	石材・コンクリート・木材・竹材等取扱い	ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い	
7	石材・コンクリート・木材・竹材等取扱い	ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い	
8	石材・コンクリート・木材・竹材等取扱い	ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い	
9	石材・コンクリート・木材・竹材等取扱い	ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い	
10	石材・コンクリート・木材・竹材等取扱い	ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い	
11	石材・コンクリート・木材・竹材等取扱い	ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い	
12	各種材料取扱い	卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取り扱い	
13	各種材料取扱い	卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取り扱い	
14	各種材料取扱い	卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取り扱い	
15	各種材料取扱い	卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取り扱い	
他教科との関連 造園設計、造園施工、造園管理、環境緑化、樹木学、課題学習		欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	環境緑化（前期）		履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	45 (前・後期合わせて)		単位数 1.5
授業概要	公共緑化空間の把握 特殊空間緑化（屋上緑化）の基礎 積算による見積書の作成（工事および 維持管理）	到達目標	現代の環境緑化の一つである屋上緑化 の基礎知識を習得し、また緑化に関わ る実務である積算による見積書の作成 （工事および維持管理）を知る。		
担当教員	高橋 康夫、小口 和義、山下 利隆、細井 薫、阿部 亜沙美				
実務経験と 授業との関わり	（高橋）元東京都勤務で都立公園などの設計・監督・管理を通じて都立文化財庭園の保存管理計画に携わる。都 退職後、神代植物公園で園長や日比谷公園緑と水の市民カレッジの事務局長を務める。2019年現在（一社）日本 庭園協会の会長。（小口）長年特殊空間緑化に携わる。（山下）造園会社で常務取締役を務め、1級施工管理技 士である。長年計画・施工・管理に携わる。				
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、造園修景積算マニュアル、建設物価、 プリント、電卓 等				
成績評価方法	普段の授業受講状況と課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分 の2以上、かつ評価の得点が 60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	公園・庭園見学	実地見学（代々木公園等）	高橋・阿部
2	特殊空間緑化	屋上緑化の基礎知識	小口・細井・阿部
3	積算での見積書作成	積算マニュアル等による見積書作成 （官公庁維持管理）	山下・細井
4	積算での見積書作成	積算マニュアル等による見積書作成 （官公庁工事）	山下・細井
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 造園施工、造園管理、課題学習		欠席者に対するペナルティ レポート課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補 講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	環境緑化（後期）		履修区分	必修	選択	
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次後期	時間数	45 (前・後期合わせて)		単位数	1.5
授業概要	関連施設への見学を通じて、都市緑化やエクステリアに関する基本知識を学ぶ。また、現代の空間緑化に関わる様々な装飾技術を学ぶ。	到達目標	関連施設への見学を通じて、都市緑化やエクステリアに関する基本知識を習得し、実際を知る。また現代の空間緑化に関わる様々な装飾技術を習得する。			
担当教員	菅 太郎、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり	(菅) 造園会社や植物卸売会社での勤務を経て、造園管理会社を設立。個人庭園・マンション外構・屋上緑化などの都市緑化の設計・施工・管理や植物材料の卸業務やガーデンショーへの出展責任者など、業界で20年以上幅広く経験を積んでいる。豊富な知識と経験で、現代の都市緑化・エクステリア関連の動向を指導。(阿部) フラワーパークでの植栽・管理経験あり。					
テキスト・教材	フィールドガイド23 葉で見分ける樹木(小学館)、プリント 等					
成績評価方法	普通の授業（見学・実習）状況で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	都市・空間緑化施設見学(終日)	都市・特殊空間緑化施設・エクステリア実地見学	
2	都市・空間緑化施設見学(終日)	都市・特殊空間緑化施設・エクステリア実地見学	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 造園施工、造園管理、課題学習、装飾技術		欠席者に対するペナルティ 代替見学およびレポート課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フィールドワーク		履修区分	必修	選択	
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	45	単位数	1.5	
授業概要	自然観察公園と都市公園を訪れ、公園管理の実際を見学するとともに、公園に生息する様々な生き物を観察する。	到達目標	公園管理や緑化への関心を高め、生物の多様性や環境との結びつきを理解する。			
担当教員	大久保 茂徳、阿部 亜沙美、鈴木 常美					
実務経験と授業との関わり	（大久保）（公財）埼玉県生態系保護協会会員として、数多くの自然観察会リーダーを務める。また、国営武蔵丘陵森林公園都市緑化植物園の調査研究係にて自然資源調査を担当していた経験を活かし、里山の自然資源と造園との関連を中心としたフィールドワークを指導できる。（阿部）フラワーパークでの植栽・管理経験あり。					
テキスト・教材	フィールドガイド23 葉で見分ける樹木（小学館） 等					
成績評価方法	普段の授業の実習・演習状況やレポート課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	初夏の雑木林	植物と動物（環境の多様性）	北本自然観察公園 大久保・阿部
2	夏の草地と平地林	植物の遷移（砂地から森へ）	荒川大麻生公園 大久保・阿部
3	夏の雑木林	森のネットワーク（植物・菌類・土壌）	武蔵丘陵森林公園 大久保・阿部
4	自然環境	自然環境問題 樹木・森の効果 自然公園	鈴木
5	秋の草地と平地林	原種の世界（身近にある遺伝子資源）	荒川大麻生公園 大久保・阿部
6	秋の雑木林	生物の移動（種子から渡り鳥まで）	北本自然観察公園 大久保・阿部
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 造園管理、課題学習		欠席者に対するペナルティ 代替見学およびレポート課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	測量		履修区分	必修	選択	
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期	時間数	60	単位数	2	
授業概要	造園設計・施工をする上で知っておくべき測量の基本を学ぶ。	到達目標	造園設計・施工をする上で知っておくべき測量の基本（距離測量、面積計算、平板測量、水準測量（レベル）、トランシット測量、丁張）についての基本知識や作業を習得する。			
担当教員	鈴木 常美					
実務経験と授業との関わり	長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に長けている。よって、実際に造園設計・施工を行う上で必要な測量の知識、技術を指導することができる。					
テキスト・教材	各種関連プリント、造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会） 巻尺、電卓（√）、平板測量器材一式、レベル、ポール、野帳、垂木、貫板、釘、水系					
成績評価方法	普段の授業の実習状況や各種測量演習課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	測量の基礎①	距離測量、面積計算（巻尺測量、ヘロンの公式など）	
2	測量の基礎②	距離測量、面積計算（巻尺測量、ヘロンの公式など）	
3	測量の基礎③	距離測量、面積計算（巻尺測量、ヘロンの公式など）	
4	平板測量、面積計算①	平板測量の基本（測定、面積計算） レベルの据付、	
5	平板測量、面積計算②	平板測量の基本（測定、面積計算）	
6	平板測量、面積計算③	平板測量の基本（測定、面積計算）	
7	水準測量（レベル）①	水準規量の基本、据付 （レベルの据付、測定、野帳記入、計算）	
8	水準測量（レベル）②	水準規量の基本 （測定、野帳記入、計算）	
9	水準測量（レベル）③	水準規量の基本 （測定、野帳記入、計算）	
10	水準測量（レベル）④	水準規量の基本 （測定、野帳記入、計算）	
11	トランシット測量①	多角測量、トランシットの基本 （トランシットの据付、測定、野帳記入、計算）	
12	トランシット測量②	多角測量、トランシットの基本 （トランシットの据付、測定、野帳記入、計算）	
13	丁張①	土木工事に必要とされる位置と高さを出す 基本	
14	丁張②	土木工事に必要とされる位置と高さを出す 応用	
15	実力テスト	レベルの据付と測量及び計算の試験 トランシットの据付と測量及び計算の試験	
他教科との関連 造園設計、造園施工、課題学習		欠席者に対するペナルティ 演習においては授業内で演習課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	課題学習（前期）		履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	60	単位数	2
授業概要	造園に関連して幅広くイベントや緑化空間を見聞するとともに、それぞれ進路に応じテーマを設定し研究する。	到達目標	造園に関連して幅広くイベントや緑化空間を見聞するとともに、それぞれ進路に応じテーマを設定し研究することで、自己の専門性を高める。		
担当教員	細井 薫、阿部 亜沙美、高橋 康夫				
実務経験と授業との関わり	（細井）10年以上国内外のショウガーデンへの出展および出展指導・受賞経験と20年以上の花壇植栽・管理経験あり。（高橋）元東京都勤務で都立公園などの設計・監督・管理を通じて都立文化財庭園の保存管理計画に携わる。都退職後、神代植物公園で園長や日比谷公園緑と水の市民カレッジの事務局長を務める。2019年現在（一社）日本庭園協会の会長。				
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、造園図面の表現と描法（誠文堂新光社）I、積算物価（（一財）建設物価調査会）、造園修景積算マニュアル、プリント、製図道具一式、計算機 等				
成績評価方法	普段の授業の実習状況や見学レポート・卒業研究課題で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	卒業研究ガイダンス 個人面談	課題学習（卒業研究）の考え方・テーマ選び・資料集め	
2	卒業研究	資料集め、研究方法の検討	
3	卒業研究	個別指導・進行状況の確認	
4	卒業研究	個別指導・進行状況の確認	
5	公園・庭園見学	実地見学（代々木公園等）	
6	卒業研究	個別指導・進行状況の確認	
7	卒業研究	個別指導・進行状況の確認・中間報告	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 造園設計、造園施工、造園管理、樹木学、環境緑化		欠席者に対するペナルティ 見学については代替見学およびレポート、演習においては各種課題の作成・提出。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	課題学習（後期）		履修区分	必修	選択	
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次後期	時間数	60	単位数	2	
授業概要	それぞれ進路に応じテーマを設定し研究したものをまとめ上げる。また今まで学んできたことをもとに、集大成として作庭やテーマ展示を行い、作り上げた作品の維持・管理までを行う。	到達目標	それぞれ進路に応じテーマを設定し研究したものをまとめ上げる。また今まで学んできたことをもとに、集大成として作庭やテーマ展示を行うことで、自己の専門性を高め、プレゼンテーション能力や実践力を習得する。			
担当教員	鈴木 常美、細井 薫、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり	（鈴木）長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るいため、実践的な内容を指導することができる。（細井）10年以上国内外のショウガーデンへの出展および出展指導・受賞経験と20年以上の花壇植栽・管理経験あり。（阿部）フラワーパークでの植栽・管理経験あり。					
テキスト・教材	造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、造園図面の表現と描法（誠文堂新光社）Ⅰ、積算物価（（一財）建設物価調査会）、造園修景積算マニュアル、プリント、製図道具一式、計算機 等					
成績評価方法	普通の授業の実習状況や卒業研究課題、課題作庭やテーマ展示の状況で評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	卒業研究 課題作庭・テーマ展示	進行状況の確認・個別指導 文花祭計画・準備	
2	卒業研究 課題作庭・テーマ展示	進行状況の確認・個別指導 文花祭計画・準備	
3	卒業研究 課題作庭・テーマ展示	進行状況の確認・個別指導 文花祭準備	
4	卒業研究 課題作庭・テーマ展示	進行状況の確認・個別指導 文花祭準備	
5	課題作庭・テーマ展示	文花祭片付け	
6	課題作庭・テーマ展示	卒業制作計画	
7	卒業研究 (植栽管理)	進行状況の確認・個別指導 (植栽管理)	
8	卒業研究 (植栽管理)	進行状況の確認・個別指導 (植栽管理)	
9	卒業研究 (植栽管理)	進行状況の確認・個別指導 (植栽管理)	
10	卒業研究 (植栽管理)	進行状況の確認・個別指導 (植栽管理)	
11	卒業研究	仮提出	
12	卒業研究	修正・仕上げ	
13	卒業研究	最終提出	
14	課題作庭・テーマ展示	卒業制作準備	
15	課題作庭・テーマ展示	卒業制作準備	
他教科との関連 造園設計、造園施工、造園管理、樹木学、環境緑化		欠席者に対するペナルティ 見学については代替見学およびレポート、演習においては各種課題の作成・提出。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	インターンシップ			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期または後期	時間数	60		単位数	2
授業概要	外部企業において実際に現場を経験し、自身の現在の実力を理解するとともに企業担当者からも評価してもらうことで、今後の学習目標を定める。また、就職活動においても役立つ。	到達目標	自分の希望している企業（職種）での業務において、必要な知識と技術を理解するとともに、今後の学習目標を定める。			
担当教員	外部企業					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	考課表および実習報告書にもとづいて総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	企業研修	6～12日間程度外部企業で研修を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考



2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	校外研修			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期または後期	時間数	60		単位数	2
授業概要	外部企業もしくは海外研修など、校外で研修（学習）することで、見聞を広めたり、就職活動や今後の学習目標を定めるための材料とする。	到達目標	自分の希望している企業（職種）での業務において、必要な知識と技術を理解するとともに、今後の学習目標を定める。海外研修では日本と異なる文化に触れ、見聞を広める。			
担当教員	外部企業等					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	企業での研修の場合には考課表および実習報告書にもとづいて総合的に評価する。海外等での研修の場合にはレポートによって評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	校外研修	6～12日間程度校外（企業、海外等）で研修を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	管理実習			履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	造園圃場の管理を通して植物の適正な管理方法について学ぶ。	到達目標	様々な植物に対する管理方法を身に付ける。			
担当教員	鈴木 常美、細井 薫、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり	(鈴木) 長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るいため、実践的な内容を指導することができる。(細井) 20年以上花壇植栽・管理経験あり。(阿部) フラワーパークでの植栽・管理経験あり。					
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況、実習態度を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	造園圃場等の管理実習	長期休業期間中に校内で管理実習を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	校内行事			履修区分	必修	選択
受講対象	造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	120		単位数	4
授業概要	様々な校外行事に参加し、主体性、協調性、作業の計画性など、就職してからも活かせるような知識や技術を身につける。	到達目標	様々な校内行事を通して、主体性、協調性、計画性などを身につける。			
担当教員	鈴木 常美、細井 薫、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況や各行事への取り組む姿勢、レポート等を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	新年度オリエンテーション	ガイダンス、健康診断、国家検定申込み	
2	新年度オリエンテーション	防火・防災訓練	
3	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
4	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
5	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
6	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
7	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
8	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
9	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
10	文化祭	展示／販売／体験教室等	
11	文化祭	展示／販売／体験教室等	
12	文化祭 片付け	文化祭の片付け	
13	卒業・進級作品展準備	展示等の準備	
14	卒業・進級作品展	展示等	
15	卒業・進級作品展 片付け	卒業・進級作品展の片付け	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考